

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

今、私たちは、急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、グローバル化した経済の下での世界同時不況の発生、地球規模での温暖化の進行、そして国と地方を通じた財政の危機的な状況など、かつてないほどの困難な状況に直面しています。

このような中で、私たちは様々な課題を乗り越え、光り輝くちばを築いて次世代に確実に引き継いで行かなくてはなりません。

そのためには、中長期的な視点に立った県政運営が求められています。

そこで、本県では、県民の『暮らし満足度日本一』を基本理念として、千葉県の10年後の目指す姿と、これを実現するため3年間で取り組む政策・施策を示す新たな総合計画を策定しました。

2 計画の性格

この計画は県政運営の基本となるもので、千葉県の政策の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。

また、今後の新しい千葉県づくりの方向性を県民の皆様と共有し、力を合わせて本県の将来の目指す姿を実現していくための指針となるものです。

3 計画の構成と期間

この計画は、「基本構想編」と「実施計画編」で構成しています。

(1) 基本構想編

千葉県を取り巻く時代背景と課題を、「人口減少・少子高齢化」、「経済・社会のグローバル化」、「安全・安心」、「環境保全」、「地方自治」、「デジタル社会の進展」という6つの側面から整理しました。

その上で、『暮らし満足度日本一』を基本理念に掲げ、10年後の千葉県の目指す姿と進むべき方向性を、「安全で豊かな暮らしの実現」、「千葉の未来を担う子どもの育成」、「経済の活性化と交流基盤の整備」という3つの基本目標を設けて具体的に明らかにしました。

(2) 実施計画編

この3つの基本目標を達成するため、平成22年度(2010年度)から、平成24年度(2012年度)までの3か年で重点的に取り組む政策・施策を体系的に整理しました。

4 計画の特色

(1) 千葉県が持つ財産（宝）の活用

成田国際空港や東京湾アクアライン、全国屈指の農林水産業、豊かな自然など、千葉県が持つ様々な財産（宝）に光を当て、それらを生かす計画としました。

(2) 選択と集中

厳しい財政状況の中でも、千葉県が抱える課題を解決し、県民ニーズに応えられるよう、施策の「選択と集中」を図りました。

(3) 総合的な取組

分野をまたがる課題に対しては、横断的な連携のもと、施策を統合し、相乗効果を高めるなど、総合的な取組としました。

(4) 分かりやすい計画

県民の皆様に分かりやすく、親しみやすい計画となるよう、構成や記述面などで工夫に努めました。